

# 地域活性化委員会 事業報告

## I. 委員

委員長	伊藤 大司		
副委員長	岩井田 健太		
委員会メンバー	田中 秀樹	住本 誠	蟹江 祥裕
	桂川 卓也		
幹事	加藤 稔	蟹江 達矢	

## II. 委員会事業

1. 4月例会
2. ASPAC 山形大会
3. 愛知ブロック大会(瀬戸)
4. 三団体親睦会
5. 10月例会

## III. 委員会活動報告

	事業名または活動内容	成 果
1月	4月例会内容協議	年間スケジュールを確認し、4月例会の内容を協議することができた。
2月	4月例会内容協議	4月例会に向け、手法・伝え方などを協議することができた。
3月	4月例会内準備	4月例会に向け、資料作成、内容及び役割の確認をすることができた。
4月	4月例会開催	自分たちも地域を活性化させ、自分たちがまちづくりを担うという意識が芽生えさせる一助となる事ができた。
5月	10月例会協議	10月例会に向け、委員会協議することができた。
6月	ASPAC 山形大会 4月例会事業収支決算作成	アジアの JCI メンバーの熱意を肌で感じれた 4月例会を振り返り、成果・反省点を確認することができた。
7月	10月例会準備	10月例会に向け、他団体との打合せや内容を協議することができた。
8月	10月例会準備	10月例会に向け、一般参加者の募集を行い、資料や役割の確認をすることができた。
9月	10月例会準備	10月例会に向け、ボランティアスタッフにシミュレーションをして当日の動きを確認できた。
10月	10月例会開催	東海青年会議所を市民、行政、市近郊の人にまちづくりの団体だとPRできた。
11月	委員会開催	理事会報告を行い、今後の予定の確認をすることができた。
12月	10月例会事業収支決算作成 事業報告書作成	10月例会を振り返り、成果・反省点を確認することができた。 事業報告書を作成し、1年の活動を振り返ることができた。

#### IV. 委員会決算報告

単位；円

事業名	予 算	決 算
1. 4月例会	10,000	9,750
2. 10月例会	1,210,000	1,169,040
合 計	1,220,000	1,178,790

#### V. 委員長所見

委員長 伊藤 大司

2014年度、近井洋一理事長より大役を仰せつかり「必ず理事長の所信を貫徹できるような事業を大成功させたい!」という強い気持ちでスタートを切った一年でした。

はじめは、自分の思いばかりが先行してしまい「何で、皆が同じ思いで取り組んでくれないのか」と嘆き、変わらない現状に焦燥している日々も多かったと思います。

しかし、自分のやりたいことを諦めることなく、地道にメンバーにまちづくりすることの意義を伝え続けることで一人ひとりの心に自分の意思が伝わり、いつしか自分の意思が委員会メンバーの意思に変わっていきました。そのメンバーの強い気持ちは、ボランティアである大学生にまで伝わり「ドリーム子ども商店街を成功させ、地域の人に喜んでもらいたい」というたくさんの人達の強い気持ちで大成功に導かれた事業だったと思っています。

一年間を通してたくさんの経験をさせていただき、成長させていただける機会をつくっていただきました近井理事長に深く感謝致します。そして、事業を成功させ、たくさんの方々に影響を与えることができたことについては委員会メンバーの心強いサポートがあったからこそだと思っています。未熟な自分を最後まで支えてくれた委員会メンバーには大変感謝をしています。本当に一年間ありがとうございました。